

平成29年 新年賀詞交換会



1月12日、中央生涯学習センターで新年賀詞交換会が開催され、277人の市民が牛久市のさらなる飛躍、発展を祈りました。ここでは、主催者代表の根本洋治市長のあいさつを紹介します。

◆ひたひた

ひたち野うしく地区の中学校建設については、就任後、専任の職員を配置し、プロジェクトチームを作って推し進めてきた事業です。間もなく基本設計が終わり、平成29年度に実施設計を行い、平成30年度から工事を開始し、平成32年4月の開校予定で進めています。隣のひたち野うしく小学校との連携、防災機能や、将来他の用途に対応するときの配慮など、検討事項は多岐にわたりますが、多くの方の意見をいただきながら、皆さんの願いに沿えるよう進めてまいります。武道

場は牛久運動公園の体育館そばに建設する計画を進めており、平成31年度に開設する予定です。国体を見据えた、県南地区における武道競技の貴重な施設として、交流人口の増加にも貢献することでしょう。

◆暮いづいづい

子どもの医療費助成(マル福)の対象は昨年10月から18歳までに拡大し、高校進学のための奨学金は4月から年間12万円になります。牛久市は、昨年の8月に人口8万5千人を超え、昭和30年に現在の市域となつて以来、増加傾向を維持したまま、平成29年の年頭を迎えることができました。しかしながら、住民の年齢構

成は、足元の高齢化率が26パーセント超に達し、他の自治体と変わるところの無い超高齢社会であることも現実です。今後も活力あるまちであり続けるために、牛久市まち・ひと・しごと

創生総合戦略を着実に推進し、進め、若い世代の出産子育て支援、交流人口増加、中心市街地・既存住宅地の再活性化、安全安心の向上などに取り組み、まちとしての魅力の維持向上を図ってまいります。

◆まちづいづい

エスカードビルからのイズミヤ撤退について、イズミヤが所有する床を牛久市が取得するということが、双方による基本合意が成立しました。合意内容は、平成29年度と平成30年度の2年間は市がイズミヤの床を賃借し、3年後に有償譲渡を

受けるというものです。今後、議会の議決を得て、3月末に契約を締結する予定です。今回の基本合意により、今後のエスカードビル

使用の条件が明確になり、市としては店舗等の誘致活動に取り組むことができるようになりました。今後は、積極的に誘致活動を展開し、早急にスーパ等の誘致を実現させ、安心して暮らせるまちづくりを推進していきたいと考えています。譲渡価格については、現在決定していませんが、近隣の同様な状況と比較しても、市の優位性が認められる価格になるよう、引き続きイズミヤと交渉を進めてまいります。牛久市を活力ある、笑顔のまちとして守り育てて行くために、皆様方のご理解とご協力を、よろしくお願ひ申し上げます。

市長あいさつ(要旨)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より、市政各般にわたり、皆様方からお寄せいただいた御支援、御高配に對し、深く敬意を表し衷心より厚く御礼を申し上げます。私が市長に就任して1年3か月がたち、「笑顔のまち牛久」をつくるための取り組みは、具体的に形を表現し始めています。